

『冒険学校まふゆのキャンプ2024』報告

～これでよかった初村長～

鈴木風馬（自然文化誌研究会 運営委員）

2024年12月27日～2024年12月29日の3日間、小菅村「清水バンガロー」で開催した「冒険学校 まふゆのキャンプ」の報告をします。

今回私は、参加者時代から長らく参加してきたINCHのキャンプで、初めての「村長」ということでやらせてもらいました。「村長」に対する思いとしては、やはり自分にはまだ早いのではないかとは思っていましたが、ここで経験しておかなくては一生やらないだろう、この先もINCHに関わる身としてはぜひ経験しておきたい、と思っていました。始まるまではかなり緊張していましたが、始めてみるとやることはいつものキャンプと同じプラスでミーティングや始まり終わりでしゃべる、そしてとにかく子どもたちと一緒に遊んで自分も楽しむ、そしてそれが楽しいというところに尽きました。

まふゆのキャンプは毎回夏来た子達が冬も来ることが多いので、みんな勝手がわかっています。子どもたちもあれがやりたいこれがやりたいということで、火遊び、薪割り、工作、ブランコ、星空、野鳥、シーソー、乱闘、餅つき、滝見と盛り沢山でした。私もたくさん子どもたちと遊んで、いつものキャンプと違って「村長」ということで少し子どもたちとの関わり方の意識が変わったかなと思います。手加減を知らない子どもたちと向き合って安全に振りつつ自分も全力で遊ぶというのは案外難しく、どうしても見守りになったり、子どもたちも飽きてしまったり、羽交い締めにされて怪我をしかけたりしました。そんな中でも興味を引くコツを掴んで、どうやってコミュニケーションを取って、子どもたちのやりたいことを汲み取って、それを一緒に形にするとかに楽しいかということを確認できたと思います。後半になると、子どもたちも自然と「村長、村長」と呼んでくれて、認められたような気がして、緊張もほぐれて、認められたのかなと思って嬉しくなりました。いつのまにやら子どもたちも仲良くなっていて、「大乱闘ヤミーズ」なる組織ができたり、ずっとお風呂を炊いてくれる子がいたり、ブランコを全力で押ししたり、肩車をしたり、ペットボトルと木で水車を作ったり、シーソーをちゃんとしたものに作り替えたり、滝で氷の盾（連続した氷柱の塊）を獲得した子どもがいたりしました。最後、武蔵小金井駅解散まで一緒に行って、バスの中で疲れて眠っている子どもたちを見て、全力で遊ぶと疲れるよね、楽しかったよねと思えてよかったです。来てくれたスタッフの皆さん、運営チームの皆さん、全力で準備してくれた皆さん、片付けに協力してくれた皆さん、本当にありがとうございました。今後のキャンプもぜひよろしくお願いします。



←スタッフの佐々木正久さんのYouTube「まー君のナチュラルフ」で、「冒険学校まふゆのキャンプ」の活動の様子が観られます！！
(チャンネル登録よろしくお願いします)